

1 基本項目	事務事業名				産業観光推進事業	担当部署	課等名	商工観光課			
	予算事業名				産業観光推進事業		係名	商工労働・企業立地係			
	事務区分				自治事務		電話番号	0765-23-6195			
	事業期間				開始年度	平成29年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	目標3. 輝くまち				款	商工費			
		政策名	政策10. 魅力発信と交流のまちづくり				項	商工費			
		施策名	施策22. 観光の振興				目	商工振興費			
		基本事業名	基本事業22－1. 地域資源のブランド力向上				総合計画主な事業			記載あり（評価対象）	
	根拠法令								総合戦略との関連		関連なし
	アウトソーシング導入状況				アウトソーシング導入済（業務委託）				集中プランとの関連		関連なし

2 事業概要	事業概要	本市における農・林・水産・商工業などが持つ新たな可能性の掘り起こしや、既存の産業観光のブラッシュアップを行うなど、本市の特色を活かした新たな産業観光について関係機関と連携しながら調査・研究を進める。また、産業観光を観光分野における新たなコンテンツとして活用し、交流人口の拡大につなげる。							
	対象	市内事業所							
	手段 （活動指標）	市内事業所を対象とした産業観光ツアーを開催							
	意図 （成果指標）	市内外の方にツアーへ参加してもらうことで市内企業の事業内容等を広く周知していき、将来的な雇用の確保につながるとともに、ツアーを受け入れた企業においては、従業員のモチベーション向上が図られる。							

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 産業観光ツアー実施回数	回	0	3	3	3	100.0%	3
		②							
	成果	① 産業観光実施事業者	個所	0	14	15	14	93.3%	15
		②							

4 コスト情報	区 分		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費	事業費合計 (A)	円	0	123,284	159,000	158,440	28.5%	159,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円				31,000		40,000
		⑤一般財源	円	0	123,284	159,000	127,440	3.4%	119,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
		②年間所要時間	時間	0	300	300	200	-33.3%	200
		③人件費（②×@ 3,956 円）(B)	円	0	1,186,800	1,186,800	791,200	-33.3%	791,200
	総 費 用 (A+B)		円	0	1,310,084	1,345,800	949,640	-27.5%	950,200

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等								
	8/19（土）主催：市商工観光 参加者 20名 参加企業等 4社								
	10/14（土）・15（日）※〇〇魚津と同時開催 主催：観光協会 参加者 58名（14日39名 15日19名） 参加企業等 15（土）4社、16（日）2社								
	3/23（土）主催：観光協会 参加者 21名 参加企業等 4社								

評価の視点		R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
6 評 価	妥 当 性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1	妥当である	
					② 目的の妥当性	1	妥当である	
					③ 対象の妥当性	1	妥当である	
	有 効 性	A	A	特に問題なし	① 目標達成度	1	高い	
					② 類似事業の有無	1	なし	
					③ 上位施策への貢献度	1	高い	
	効 率 性	A	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2	普通	
					② 実施主体の適正化	1	適正である	
					③ 負担割合の適正化	1	適正である	
	1 次 評 価	結果 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当		不要	
今 後 の 方 針		○ 現状を維持	方 針 の 説 明 等	産業観光ツアーの実施は市内の産業の周知、認知度を高めることに大変効果があるが、今後としては、ツアーとして採算がとれる旅行商品として内容のブラッシュアップを図る必要がある。そうしたことから観光戦略係や観光協会、受け入れ先の企業等と販売が可能となるような内容となるよう調整を行っていく。	2 次 評 価			
		事業の拡充						
		事業の縮小						
	統合等の検討							
	終了又は廃止・休止							

1 基本項目	事務事業名	観光・物産宣伝事業			担当部署	課等名	商工観光課
	予算事業名	観光・物産宣伝事業				係名	観光戦略係
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1025
	事業期間	開始年度	昭和40年代	終了年度	当面継続	会計	一般会計
	目標名	目標3. 輝くまち			予算科目	款	商工費
	政策名	政策10. 魅力発信と交流のまちづくり				項	商工費
	施策名	施策22. 観光の振興				目	観光費
	基本事業名	基本事業22－1. 地域資源のブランド力向上			総合計画主な事業	記載あり（評価対象）	
	根拠法令				総合戦略との関連	関連あり（評価対象）	
	アウトソーシング導入状況				集中プランとの関連	関連あり（評価対象）	

2 事業概要	事業概要	魚津市のみどころ（観光資源やイベントなど）や特産物等をPRすることにより、県内外からの観光客を誘致し、市全体の活性化を目指す。加えて市内のイベント開催及び観光関係諸団体の活動に対して支援を行う。					
	対象	全国民（首都圏、関西圏、中京圏の住民が主なターゲット）、観光関係団体					
	手段 （活動指標）	パンフレット作成、TVや新聞、雑誌等への広告、観光協会・観光ボランティア支援等。首都圏や関西圏など大都市圏での物販、観光PRの実施。					
	意図 （成果指標）	国内外から多くの来訪者が訪れ、宿泊することで地域経済の活性化につながる。					

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 広告費（新聞・テレビ等）	円	1,470,500	1,540,434	1,600,000	1,471,327	92.0%	1,600,000
		② 県外出向宣伝	回	3	7	7	8	114.3%	8
	成果	① 当年観光客入込数	人	922,704	1,234,775	1,567,000	1,288,633	82.2%	1,598,000
		② 延べ宿泊客数	人	190,466	219,371	301,000	227,065	75.4%	307,000

4 コスト情報	区 分		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費 財源内訳	事業費合計（A）	円	8,711,485	27,605,756	12,346,000	11,813,472	-57.2%	12,591,000
		①国庫支出金	円	580,000					
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円	4,720,000	22,635,000	7,700,000	7,600,000	-66.4%	7,000,000
		⑤一般財源	円	3,411,485	4,970,756	4,646,000	4,213,472	-15.2%	5,591,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	4	33.3%	4
		②年間所要時間	時間	900	900	900	1,400	55.6%	1,400
		③人件費（②×@ 3,956 円）（B）	円	3,560,400	3,560,400	3,560,400	5,538,400	55.6%	5,538,400
	総 費 用（A＋B）		円	12,271,885	31,166,156	15,906,400	17,351,872	-44.3%	18,129,400

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等					
	・テレビや新聞・雑誌等への広告掲載 ・観光ボランティアや蜷気楼研究会等の観光関連団体の支援等を実施 ・イルミラージュUOZU、魚津の朝市等のイベントに対する補助金交付 ・じゅんとこい魚津まつり事業運営費補助金交付 ・蜷気楼出現週間予測業務の実施（委託） ・食のブランディング事業（魚津しんきろうポーク等普及促進事業委託） ・発地型観光パンフレットのリニューアル					

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥 当 性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1	妥当である
					② 目的の妥当性	1	妥当である
					③ 対象の妥当性	1	妥当である
	有 効 性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価点への影響低い	① 目標達成度	2	目標どおり
					② 類似事業の有無	1	なし
					③ 上位施策への貢献度	1	高い
	効 率 性	B	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2	普通
					② 実施主体の適正化	1	適正である
					③ 負担割合の適正化	1	適正である
	結果 （課長総括）	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要		
	1次評価	○ 現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	北陸新幹線敦賀延伸による関西圏等からの誘客、長野県飯山市をはじめとした近隣県からの誘客など、引き続き効果的な観光PRを実施していくことが重要と考えられる。	2次評価		

1 基本項目	事務事業名	食泊連携事業				担当部署	課等名	商工観光課
	予算事業名	食泊連携事業					係名	観光戦略係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1025
	事業期間	開始年度	平成25年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	目標3. 輝くまち				款	商工費
		政策名	政策10. 魅力発信と交流のまちづくり				項	商工費
		施策名	施策22. 観光の振興				目	観光費
		基本事業名	基本事業22－1. 地域資源のブランド力向上			総合計画主な事業	記載あり（評価対象）	
		根拠法令				総合戦略との関連	関連あり（評価対象）	
		アウトソーシング導入状況				集中プランとの関連	関連なし	

2 事業概要	事業概要	魚津駅前を中心に賑やかな飲食店街と数多くある宿泊施設が立地するという観光インフラの特性を活かし、食の魅力をPRしながら観光客の誘客や延泊を図る。						
	対象	市内飲食店、宿泊施設、観光客						
	手段 (活動指標)	魚津市観光協会、各実施主体等に対し補助又は業務を委託						
	意図 (成果指標)	国内外から多くの来訪者が訪れ、宿泊することで地域経済の活性化につながる。						

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 委託費（※R3～5指標名「負担金」）	円	1,453,861	2,235,100	3,000,000	2,999,750	100.0%	2,200,000
		②							
	成果	① 当年観光客入込数	人	922,704	1,234,775	1,567,000	1,288,633	82.2%	1,598,000
		② 延べ宿泊客数	人	190,466	219,371	301,000	227,065	75.4%	307,000

4 コスト情報	区 分		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費 内訳	事業費合計 (A)	円	1,453,861	5,044,046	3,000,000	2,999,750	-40.5%	2,200,000
		①国庫支出金	円	726,930	1,117,000	1,500,000	1,499,875	34.3%	1,000,000
		②県支出金	円		936,000				
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円						
		⑤一般財源	円	726,931	2,991,046	1,500,000	1,499,875	-49.9%	1,200,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	1	-50.0%	1
		②年間所要時間	時間	300	900	900	400	-55.6%	400
		③人件費（②×@ 3,956 円）(B)	円	1,186,800	3,560,400	3,560,400	1,582,400	-55.6%	1,582,400
	総 費 用 (A+B)		円	2,640,661	8,604,446	6,560,400	4,582,150	-46.7%	3,782,400

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等
	令和3年度から3カ年度の計画で地方創生推進交付金を活用し、とやま観光推進機構と連携した「食の磨き上げ支援プロジェクト」の取組みとして、市の特産品である「紅ズワイガニ」を軸とした飲食・宿泊プランを発信するLPを制作・公開した。併せて、駅前を中心とした飲食店デジタルマップもリリースした。 また、魚津漁業協同組合・富山県鮭鱒漁業協同組合・海の駅蜃気楼等と連携し11月18・19日、2月24・25日に海の駅蜃気楼において「魚津蟹騒動」を実施し、蒸たてのカニを1杯3千円で食してもらおう実証実験を行い、1日平均で約50杯の売上があった。

評価の視点				R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
6 評 価	妥 当 性		A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1	妥当である		
						② 目的の妥当性	1	妥当である		
						③ 対象の妥当性	1	妥当である		
	有 効 性		B	B	事業の統合まではいかないが進め方に改善が必要	① 目標達成度	2	目標どおり		
						② 類似事業の有無	2	検討の余地あり		
						③ 上位施策への貢献度	1	高い		
	効 率 性		C	C	実施主体と内容の見直しが必要	① コスト効率	2	普通		
						② 実施主体の適正化	2	改善の余地あり		
						③ 負担割合の適正化	2	改善の余地あり		
1 次 評 価	結果 (課長総括)		B	B	補助率及び上限額について見直す余地あり	不要				
	今後の方針	現状を維持		方針の説明等	魚津の食の魅力と宿泊施設数や立地の良さを生かした食泊連携事業は魚津への誘客のために重要な要素であり、飲食店組合やホテル旅館組合等からの意見や効果等を踏まえ、引き続き、事業内容を精査し進めるべき事業であるとする。	2 次 評 価				
		○ 事業の拡充								
		○ 事業の縮小								
		統合等の検討								
		終了又は廃止・休止								

1 基本項目	事務事業名				インバウンド等推進事業	担当部署	課等名	商工観光課			
	予算事業名				インバウンド等推進事業		係名	観光戦略係			
	事務区分				自治事務		電話番号	0765-23-1025			
	事業期間				開始年度	平成28年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	目標3. 輝くまち				款	商工費			
		政策名	政策10. 魅力発信と交流のまちづくり				項	商工費			
		施策名	施策22. 観光の振興				目	観光費			
		基本事業名	基本事業22－2. 地域の魅力発信体制の整備				総合計画主な事業			記載あり（評価対象）	
	根拠法令					総合戦略との関連		関連あり（評価対象）			
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連		関連なし			

2 事業概要	事業概要	台湾を中心とした外国人観光客の増加を図るため、台湾などでの観光PRの実施や広告宣伝活動を実施する。また受入体制の整備も図る。	
	対象	外国人観光客	
	手段 （活動指標）	海外現地でのPR活動数、海外に向けての宣伝活動数	
	意図 （成果指標）	市内外国人延べ宿泊者数	

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 海外現地でのPR活動数	回	0	1	1	1	100.0%	1
		② 海外に向けての宣伝活動数	回	2	2	2	2	100.0%	2
	成果	① 市内外国人延べ宿泊者数	人	1,113	739	13,503	4,561	33.8%	13,503
		②							

4 コスト情報	区 分		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費	事業費合計 (A)	円	6,625,560	2,300,000	6,700,000	6,700,000	191.3%	6,700,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円			4,000,000	4,000,000		
		⑤一般財源	円	6,625,560	2,300,000	2,700,000	2,700,000	17.4%	6,700,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	2	2	100.0%	2
		②年間所要時間	時間	300	300	300	600	100.0%	600
		③人件費（②×@ 3,956 円）（B）	円	1,186,800	1,186,800	1,186,800	2,373,600	100.0%	2,373,600
	総費用（A+B）		円	7,812,360	3,486,800	7,886,800	9,073,600	160.2%	9,073,600

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	・台湾向けホームページ管理 ・台湾・香港向け訪日旅行情報ウェブサイトへの繁体字での観光情報掲載（R1～継続） ・多言語観光情報サイトへの掲載及び情報発信 ・台湾における提携・交流自治体調査 6月 プロポーザル実施、11月 報告会、3月 現地視察訪問 ・多言語観光パンフレット（韓国語版）を新たに制作 ・リターゲティング広告配信の実施 ・中華圏インバウンド向けメディアプロモーション	

評価の視点		R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
6 評 価	妥 当 性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1	妥当である	
					② 目的の妥当性	1	妥当である	
					③ 対象の妥当性	1	妥当である	
	有 効 性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	① 目標達成度	2	目標どおり	
					② 類似事業の有無	1	なし	
					③ 上位施策への貢献度	1	高い	
	効 率 性	B	B	根本的変更でなく進め方の改善が必要	① コスト効率	2	普通	
					② 実施主体の適正化	2	改善の余地あり	
					③ 負担割合の適正化	1	適正である	
1 次 評 価	結果 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2 次 評 価	不要		
	今後の方針	○ 現状を維持	方針の説明等	当初は台湾にターゲットを絞ってインバウンド事業を実施していたが、台湾を中心としながら他国からも幅広く誘客する必要がある。受入体制整備やPR活動のほか、SNSを活用した情報発信など効果的な取組みも重要である。令和5年度に実施した、台湾との交流・提携の可能性のある自治体調査の結果を踏まえ、コンタクトが継続できる仕組みの構築が重要となってくる。				
		事業の拡充						
		事業の縮小						
統合等の検討								
	終了又は廃止・休止							

1 基本項目	事務事業名				受入体制整備事業	担当部署	課等名	商工観光課			
	予算事業名				受入体制整備事業		係名	観光戦略係			
	事務区分				自治事務		電話番号	0765-23-1025			
	事業期間				開始年度	平成元年以前	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	目標3. 輝くまち				款	商工費			
		政策名	政策10. 魅力発信と交流のまちづくり				項	商工費			
		施策名	施策22. 観光の振興				目	観光費			
		基本事業名	基本事業22－3. イベント・受け入れ体制の充実				総合計画主な事業		記載あり（評価対象）		
	根拠法令								総合戦略との関連		関連あり（評価対象）
	アウトソーシング導入状況				アウトソーシング導入済（ ）				集中プランとの関連		関連なし

2 事業概要	事業概要	本市への来訪者に対する満足度向上のため、観光スポットでの観光案内、清掃等を行うとともに、観光案内看板の管理のほか、誘客宣伝事業及び観光案内所業務の充実を図るため、関係団体に対して支援を行う。 また、本市の観光施策について中心的な役割を担う組織「（仮称）魚津市観光地域づくり法人（DMO）」の設立を目指し、市観光協会など関係事業者と組織のあり方等について検討を行う。	
	対象	観光施設、宿泊施設	
	手段（活動指標）	海の駅蜃気楼周辺での観光案内、清掃委託業務。観光案内所業務等への補助。（仮称）魚津市観光地域づくり法人（DMO）設立準備会の開催など。	
	意図（成果指標）	国内外から多くの来訪者が訪れ、宿泊することで地域経済の活性化につながる。	

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 魚津市観光協会運営費補助金	円	15,000,000	15,000,000	15,000,000	15,000,000	100.0%	15,000,000
		② しんきろうロード交通整理・清掃委託料	円	1,130,749	1,297,040	1,360,400	1,360,400	100.0%	1,483,000
	成果	① 当年観光客入込数	人	922,704	1,234,775	1,567,000	1,288,633	82.2%	1,598,000
		② 延べ宿泊客数	人	190,466	219,371	301,000	227,065	75.4%	307,000

4 コスト情報	区 分		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費内訳	事業費合計（A）	円	19,221,160	25,520,483	125,896,000	108,015,327	323.2%	88,719,000
		①国庫支出金	円	750,000	8,181,700	25,390,000	6,334,500	-22.6%	21,409,000
		②県支出金	円	467,000	478,000	499,000	14,558,000	2945.6%	0
		③地方債	円		5,700,000	0			0
		④その他（使用料、雑入等）	円	10,724,000	560,000	11,250,000	10,300,000	1739.3%	42,890,000
		⑤一般財源	円	7,280,160	10,600,783	88,757,000	76,822,827	624.7%	24,420,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	4	33.3%	4
		②年間所要時間	時間	1,600	2,000	2,000	2,500	25.0%	2,500
		③人件費（②×④ 3,956 円）（B）	円	6,329,600	7,912,000	7,912,000	9,890,000	25.0%	9,890,000
	総 費 用（A＋B）		円	25,550,760	33,432,483	133,808,000	117,905,327	252.7%	98,609,000

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	・観光推進体制組織強化事業 ・観光専門人材派遣事業 ・蜃気楼展望地での観光案内説明員設置、清掃委託 ・魚津市観光協会、魚津駅観光案内所、おおまち観光案内所運営補助 ・魅力的な旅行商品・サービス開発事業 ・地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業（宿泊・観光施設の改修、廃屋撤去への補助）	

評価の視点		R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
6 評価	妥 当 性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1	妥当である
					② 目的の妥当性	1	妥当である
					③ 対象の妥当性	1	妥当である
	有 効 性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価点への影響低い	① 目標達成度	2	目標どおり
					② 類似事業の有無	1	なし
					③ 上位施策への貢献度	1	高い
	効 率 性	A	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2	普通
					② 実施主体の適正化	1	適正である
					③ 負担割合の適正化	1	適正である
	1 次評価	結果 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当		不要
今後の方針		○現状を維持	方針の説明等	観光協会の体制強化は今後の観光振興にとっても重要であることから、民間を含めた支援体制を強めていく必要がある。R4年度からの第3次観光振興計画の進捗状況を点検していく必要がある。	2 次評価		
		事業の拡充					
		事業の縮小					
		統合等の検討					
	終了又は廃止・休止						

1 基本項目	事務事業名				サイクリングを活用した賑わい創出事業	担当部署	課等名	商工観光課			
	予算事業名				サイクリングを活用した賑わい創出事業		係名	観光戦略係			
	事務区分				自治事務		電話番号	0765-23-1025			
	事業期間				開始年度	令和4年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	目標3. 輝くまち				款	商工費			
		政策名	政策10. 魅力発信と交流のまちづくり				項	商工費			
		施策名	施策22. 観光の振興				目	観光費			
		基本事業名	基本事業22－3. イベント・受け入れ体制の充実				総合計画主な事業		記載なし		
	根拠法令						総合戦略との関連		関連あり（評価対象）		
	アウトソーシング導入状況				アウトソーシング導入済（ ）		集中プランとの関連		関連なし		

2 事業概要	事業概要	富山湾岸サイクリングコースがナショナルサイクルルートに指定されたほか、市内周遊ルートが整備されたことから、気軽にサイクリングを楽しめるよう環境整備を行うとともに、市内サイクリングコースの利用促進に向けた事業を進め、賑わい創出及び交流人口の増加を図る。	
	対象	全国や国外、本市を訪れる観光客	
	手段（活動指標）	レンタサイクルの整備・管理、パンフレットやWeb等を活用したサイクリング情報の発信	
	意図（成果指標）	県外からの観光客の増加および新川地域での観光客の滞在時間の増加	

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① レンタサイクルステーション設置数	箇所	5	5	5	5	100.0%	5
		② レンタサイクル事業委託金額	円	342,816	548,000	635,000	547,400	86.2%	635,000
	成果	① レンタサイクル利用台数	台	598	1,210	1,500	1,208	80.5%	1,500
		② レンタサイクル利用料収入	円	224,000	533,400	937,500	586,700	62.6%	937,000

4 コスト情報	区 分		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費	事業費合計 (A)	円	0	6,889,764	3,358,000	2,643,900	-61.6%	1,549,000
		①国庫支出金	円		3,356,000	1,000,000	948,750	-71.7%	
		②県支出金	円		500,000	666,000	500,000	0.0%	
		③地方債	円			0			
		④その他（使用料、雑入等）	円			1,271,000	986,700		937,000
		⑤一般財源	円	0	3,033,764	421,000	208,450	-93.1%	612,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	0	2	2	1	-50.0%	1
		②年間所要時間	時間	0	600	600	800	33.3%	800
		③人件費（②×@ 3,956 円）(B)	円	0	2,373,600	2,373,600	3,164,800	33.3%	3,164,800
	総 費 用 (A+B)		円	0	9,263,364	5,731,600	5,808,700	-37.3%	4,713,800

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	レンタサイクル「みらくる」貸出取り扱い委託、維持管理 専用ホームページの維持管理 発信力や訴求力の高い著名なサイクルYouTuberを2名起用し、サイクリングを楽しみながら地域の食や景色、人との出会いを発信できる動画を2本、サイクルYouTuberおすすめのコース4本をWebで配信した。	

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥 当 性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1	妥当である
					② 目的の妥当性	1	妥当である
					③ 対象の妥当性	1	妥当である
	有 効 性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	① 目標達成度	2	目標どおり
					② 類似事業の有無	1	なし
					③ 上位施策への貢献度	2	普通
	効 率 性	B	B	根本的変更でなく進め方の改善が必要	① コスト効率	2	普通
					② 実施主体の適正化	2	改善の余地あり
					③ 負担割合の適正化	1	適正である
	結果（課長総括）	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	不要		
	1 次評価	今後の方針	方針の説明等	富山湾岸サイクリングコースのナショナルサイクルルート指定をきっかけとしたサイクルツーリズムの推進は、賑わい創出及び交流人口の増加に資するものであり、レンタサイクル事業の実施体制を含め、効果的な事業実施を検討しながら進めていくべき事業であると考えている。	2 次評価		

1 基本項目	事務事業名				広域観光連携事業		担当部署	課等名	商工観光課				
	予算事業名				広域観光連携事業			係名	観光戦略係				
	事務区分				自治事務			電話番号	0765-23-1025				
	事業期間				開始年度	平成11年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計		
	総合計画	目標名	目標3. 輝くまち					款		商工費			
		政策名	政策10. 魅力発信と交流のまちづくり					項		商工費			
		施策名	施策22. 観光の振興					目		観光費			
		基本事業名	基本事業22－4. 広域観光ネットワークの振興					総合計画主な事業		記載あり（評価対象）			
	根拠法令									総合戦略との関連		関連あり（評価対象）	
	アウトソーシング導入状況									集中プランとの関連		関連なし	

2 事業概要	事業概要	富山県、近隣の自治体及び民間事業者と連携して、国外や県外へ観光客の誘客に向けた効果的なPRを行うとともに、その圏域内の受け入れ態勢の整備を図る。							
	対象	全国や国外、本市を訪れる観光客							
	手段 （活動指標）	首都圏での観光宣伝活動。地元や首都圏での観光イベントの開催。							
	意図 （成果指標）	県外からの観光客の増加および新川地域での観光客の滞在時間の増加							

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動①	北陸国際観光テーマ地区協議会負担金額	円	100,000	100,000	100,000	100,000	100.0%	100,000
	活動②	立山黒部自然環境保全・国際観光促進協議会負担金額	円	50,000	50,000	50,000	50,000	100.0%	50,000
	成果①	県外観光客の入込数	人	188,516	241,725	326,000	282,657	86.7%	350,000
	成果②								

4 コスト情報	区 分		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費 内訳	事業費合計（A）	円	5,421,000	6,564,480	6,775,000	6,198,880	-5.6%	6,738,000
		①国庫支出金	円	1,220,000	1,381,000	1,885,000	1,385,000	0.3%	1,866,000
		②県支出金	円			0			0
		③地方債	円			0			0
		④その他（使用料、雑入等）	円		1,000,000	500,000			0
		⑤一般財源	円	4,201,000	4,183,480	4,390,000	4,813,880	15.1%	4,872,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	4	33.3%	4
		②年間所要時間	時間	1,600	1,600	1,600	2,100	31.3%	2,100
		③人件費（②×④ 3,956 円）（B）	円	6,329,600	6,329,600	6,329,600	8,307,600	31.3%	8,307,600
	総費用（A+B）		円	11,750,600	12,894,080	13,104,600	14,506,480	12.5%	15,045,600

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等								
	・ 広域観光連携によるツーリズムEXP0ジャパン2023への出展（新川地域観光開発協議会） ・ にいかわ観光圏協議会事業への参画（負担金拠出） ・ 北陸デスティネーションキャンペーン事業（にいかわ観光圏協議会と連携） R5.11/8～11/10 全国宣伝販売促進会議（福井市）・エクスカーション対応 ・ 新旅行造成市町村タイアップ事業の実施（とやま観光推進機構事業（日本版DMO）との連携） ・ 美しい富山湾クラブ事業への参画、実行委員会の魚津市開催の協力 ・ 北陸国際観光テーマ地区協議会によるSNSによる情報発信 ・ 立山黒部自然環境保全・国際観光促進協議会参加								

評価の視点		R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
6 評 価	妥 当 性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1	妥当である	
					② 目的の妥当性	1	妥当である	
					③ 対象の妥当性	1	妥当である	
	有 効 性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価点への影響低い	① 目標達成度	2	目標どおり	
					② 類似事業の有無	1	なし	
					③ 上位施策への貢献度	1	高い	
	効 率 性	A	A	特に問題なし	① コスト効率	1	高い	
					② 実施主体の適正化	1	適正である	
					③ 負担割合の適正化	1	適正である	
1 次 評 価	結果 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当		不要		
	今 後 の 方 針	○ 現状を維持	方 針 の 説 明 等	観光客の動線は広域化しており、スケールメリットを生かした様々な連携が必要不可欠である。市、県及び県を超えた事業連携や、民間事業者との連携を進めていくことも重要であり、より効果的な取り組みを検討するべきである。	2 次 評 価			
		事業の拡充						
		事業の縮小						
統合等の検討								
	終了又は廃止・休止							